

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-10147(P2019-10147A)

【公開日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-003

【出願番号】特願2017-127198(P2017-127198)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な入球手段と、

その入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判定を実行可能な判定手段と、

その判定手段による前記判定の結果を示すための識別情報を表示手段に動的表示させることが可能な第1動的表示手段と、

判別条件の成立に基づいて判別を実行可能な判別手段と、

その判別手段による前記判別の結果を示すための判別情報を前記表示手段に動的表示させることが可能な第2動的表示手段と、

前記第1動的表示手段により、前記判定手段による前記判定の結果が特定の判定結果であることを示すための特定識別情報が停止表示された場合、或いは、前記第2動的表示手段により、前記判別手段による前記判別の結果が特定の判別結果であることを示すための特定判別情報が停止表示された場合に、それぞれに対応する特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、

前記識別情報の動的表示に対応した第1演出と、前記判別情報の動的表示に対応した第2演出と、を少なくとも実行可能な演出実行手段と、を有した遊技機において、

前記演出実行手段は、

前記第1演出よりも前記第2演出を強調する第1実行と、前記第2演出よりも前記第1演出を強調する第2実行と、を実行可能であり、

前記第1実行により強調して実行している前記第2演出の演出結果が表示されるタイミングにおいて、前記第1演出を実行している状態であって、且つ、特殊条件が成立している場合に、前記第1演出の残期間によらず前記第1演出の演出結果を表示する特殊演出を実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球が入球可能な入球手段と、その入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判定を実行可能な判定手段と、その判定手段による前記判定の結果を示すための識別情報を表示手段に動的表示させることができ第1動的表示手段と、判別条件の成立に基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による前記判別の結果を示すための判別情報を前記表示手段に動的表示させることができる第2動的表示手段と、前記第1動的表示手段により、前記判定手段による前記判定の結果が特定の判定結果であることを示すための特定識別情報が停止表示された場合、或いは、前記第2動的表示手段により、前記判別手段による前記判別の結果が特定の判別結果であることを示すための特定判別情報が停止表示された場合に、それぞれに対応する特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、前記識別情報の動的表示に対応した第1演出と、前記判別情報の動的表示に対応した第2演出と、を少なくとも実行可能な演出実行手段と、を有し、前記演出実行手段は、前記第1演出よりも前記第2演出を強調する第1実行と、前記第2演出よりも前記第1演出を強調する第2実行と、を実行可能であり、前記第1実行により強調して実行している前記第2演出の演出結果が表示されるタイミングにおいて、前記第1演出を実行している状態であって、且つ、特殊条件が成立している場合に、前記第1演出の残期間によらず前記第1演出の演出結果を表示する特殊演出を実行可能である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項1記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な入球手段と、その入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判定を実行可能な判定手段と、その判定手段による前記判定の結果を示すための識別情報を表示手段に動的表示させることができ第1動的表示手段と、判別条件の成立に基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による前記判別の結果を示すための判別情報を前記表示手段に動的表示させることができる第2動的表示手段と、前記第1動的表示手段により、前記判定手段による前記判定の結果が特定の判定結果であることを示すための特定識別情報が停止表示された場合、或いは、前記第2動的表示手段により、前記判別手段による前記判別の結果が特定の判別結果であることを示すための特定判別情報が停止表示された場合に、それぞれに対応する特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、前記識別情報の動的表示に対応した第1演出と、前記判別情報の動的表示に対応した第2演出と、を少なくとも実行可能な演出実行手段と、を有し、前記演出実行手段は、前記第1演出よりも前記第2演出を強調する第1実行と、前記第2演出

よりも前記第1演出を強調する第2実行と、を実行可能であり、前記第1実行により強調して実行している前記第2演出の演出結果が表示されるタイミングにおいて、前記第1演出を実行している状態であって、且つ、特殊条件が成立している場合に、前記第1演出の残期間によらず前記第1演出の演出結果を表示する特殊演出を実行可能である。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1694

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1694】

上記各遊技機のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機Z3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

ここで、パチンコ機等の遊技機には、遊技球が入賞口へと入賞することに基づいて当たりとなるか否かの抽選を行い、当たりに当選した場合に、特定遊技が実行される遊技機が提案されている（例えば、特許文献1：特開2012-147965号公報）。

しかしながら、更なる興趣の向上が求められている。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思1の遊技機は、遊技球が入球可能な第1入球手段と、その第1入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判定を実行する判定手段と、その判定手段による判定結果を示すための識別情報が動的に表示される表示手段と、その表示手段に特定の前記判定結果を示すための前記識別情報が停止表示された場合に、特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、を有し、特定領域に遊技球が通過したことを検出する検出手段と、その検出手段に遊技球の通過が検出されたことに基づいて特典を付与する特典付与手段と、前記特定領域を通過した遊技球を貯留することが可能な貯留手段と、その貯留手段に対して遊技球を貯留することが可能な貯留状態と、貯留した遊技球を流下させる解除状態とに可変させる可変制御手段と、前記解除状態に可変されることで流下した遊技球が入球可能な第2入球手段と、その第2入球手段に遊技球が入球したことに基づいて演出を実行する演出実行手段と、を有するものである。

技術的思2の遊技機は、技術的思1記載の遊技機において、前記可変制御手段は、前記特典遊技中に前記貯留手段を前記貯留状態から前記解除状態に可変せるものである。

技術的思3の遊技機は、技術的思1または2記載の遊技機において、遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも遊技球の入球が困難となる第2状態とに可変可能な可変入球手段を有し、前記特典付与手段は、前記可変入球手段に遊技球が入球したことに基づいて特典を付与するものであり、前記特典遊技実行手段は、前記特典遊技として前記可変入球手段を前記第2状態から前記第1状態へと所定条件が成立するまでの間、可変せるものである。

技術的思4の遊技機は、技術的思1から3のいずれかに記載の遊技機において、前記可変制御手段は、前記特典遊技が実行されることに基づいて、前記解除状態から前記貯留状態に可変せるものである。

<効果>

技術的思1記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第1入球手段と、その第1入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判定を実行する判定手段と、その判定手段による判定結果を示すための識別情報が動的に表示される表示手段と、その表示手段に特定の前記判定結果を示すための前記識別情報が停止表示された場合に、特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、を有し、特定領域に遊技球が通過したことを検出する検出手段と、その検出手段に遊技球の通過が検出されたことに基づいて特典を付与する特典付与手段と、前記特定領域を通過した遊技球を貯留することが可能な貯留手段と、その貯留手段に対して遊技球を貯留することが可能な貯留状態と、貯留した遊技球を流下させる解除状態とに可変せる可変制御手段と、前記解除状態に可変されることで流下した遊技球が入球可能な第2入球手段と、その第2入球手段に遊技球が入球したことに基づいて演出を実行する演出実行手段と、を有するものである。

よって、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思2記載の遊技機によれば、技術的思1記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記可変制御手段は、前記特典遊技中に前記貯留手段を前記貯留状態から前記解除状態に可変せるものである。

よって、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思3記載の遊技機によれば、技術的思1または2記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも

遊技球の入球が困難となる第2状態とに可変可能な可変入球手段を有し、前記特典付与手段は、前記可変入球手段に遊技球が入球したことに基づいて特典を付与するものであり、前記特典遊技実行手段は、前記特典遊技として前記可変入球手段を前記第2状態から前記第1状態へと所定条件が成立するまでの間、可変させるものである。

よって、遊技者の遊技意欲を高めることができるという効果がある。

技術的思想4記載の遊技機によれば、技術的思想1から3のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記可変制御手段は、前記特典遊技が実行されることに基づいて、前記解除状態から前記貯留状態に可変させるものである。

よって、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。